

## おわりに

今回作成した「JR五日市駅周辺地区交通バリアフリー基本構想」では、JR五日市駅の周辺を交通バリアフリーを進める地区と位置付けて重点整備地区とし、各事業者が実施すべき特定事業とともに、市民、事業者、行政がそれぞれ協力しながら取り組む考え方を取りまとめました。

基本構想の目標年次は平成22年(2010年)としています。実施すべき事業の中には、JR五日市駅における大きな高低差の解消など、できるだけ早期のバリアフリー化が期待されるものも、宮島街道の整備や放置自転車の防止などやや長い期間での継続的な取り組みが必要なものもあります。もちろん、すべての人が今日からでも始めることのできる「心のバリアフリー」は、目標年次に関わらない、普遍的なものであることは言うまでもありません。

本構想の作成にあたり、多くの方々から様々な御意見を頂き、参考にさせていただきました。

その中で、五日市駅から佐伯区役所までの経路についても、早期にバリアフリー化すべきとの御意見が多く寄せられましたが、目標年次までに整備することが困難であることから、特定経路に位置付けることは出来ませんでした。

しかし、バリアフリー化の必要性が高い重要な経路であることから、特定経路に準ずる経路に位置付け、着実な整備を行っていくよう考えています。

ただし、この経路のバリアフリー化が完了するまでには相当の期間を要すると考えられるため、当面の措置として、低床車両の導入が進んでいる広島電鉄宮島線を利用して五日市駅から佐伯区役所前駅まで移動し、ここから区役所までの経路のバリアフリー化を図るよう考えています。

今後、このJR五日市駅周辺地区において、基本構想に掲げた事業の着実な推進が必要であり、本市としても、適宜、事業者への働きかけを行いながら、バリアフリー化を推進していくよう考えております。